



大臣官房長賞

部門
01

食料の安定供給

株式会社ひむか農園

耕作放棄地から世界へ。異業種参入による伝統柑橘「へべす」の高収益・循環型モデルの構築



地域資源をつなぐ持続可能なへべす産地づくり。
耕作放棄地の再生と地域循環で拓く新たな農業モデル

概要

- 生産者の高齢化による産地縮小が進み、担い手不足が深刻化。また、中山間地域では耕作放棄地の増加や杉樹皮・畜ふんの処理も課題となっていた。
- 地元建設会社が農業法人を設立。農地バンクを活用して耕作放棄地など 10ha を集積し、約 8,000 本のへべすを栽培。基盤整備、土づくりから生産まで一体的に取り組んでいる。

成果

- へべすの香気成分を分析し、データと市場価値に基づくブランド化を推進。建設業の技術や重機を活用した大規模産地形成や、資源循環型栽培、スマート農業にも取り組んでいる。
- 日向市や宮崎県、JA 等と連携し、技術支援などを受けながら農地を集積。また、杉樹皮や畜ふんを堆肥化し、地域資源の循環を実現している。
- 地域では住民等もへべすの植樹にかかわるなど、産地振興への参画意識も広まっている。

基本情報

事業開始年度
2019 年

活動年数
7 年

活動地域
宮崎県

審査委員からのコメント

異業種である建設業の経営資源を投入し、農地バンクを通じて耕作放棄地を集積し 10ha 規模の産地を形成するモデルは独自性が高い。地域資源循環、スマート農業、科学的なブランド形成を組み合わせしており、担い手不足地域における新しい産地形成モデルとして評価した。